

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台 2019 仙台市主催セッション
「東日本大震災の経験と教訓を踏まえた防災関連産業の創出を目指して」開催結果概要

1. 日時 令和元年 11 月 10 日（日） 16：00～17：30
2. 会場 仙台国際センター会議棟 萩
3. 主催 仙台市（経済局産業振興課）
4. 入場者数 約 100 名
5. 構成・登壇者
 - 講演「オープンイノベーションによる新たな防災関連産業の創出について」
 - 登壇者 大上 喜裕（仙台市経済局産業政策部長）
 - 講演「Bringing new capabilities to PPDR with Drone and Private LTE」
 - 登壇者 バーバラ・ヌーナン氏（ノキアソリューションズ&ネットワークス アジアパシフィック公共営業推進部長）
 - トークセッション「防災関連産業の動向と展望」
 - 登壇者 迫田 章平氏（経済産業省経済産業政策局産業創造課 総括補佐）
蛭間 芳樹氏（株式会社日本政策投資銀行サステナビリティ企画部兼経営企画部 BCM 格付主幹）
木原 隆宏氏（株式会社日立製作所シニアアーキテクト）

6. 内容

本セッションでは、仙台市や国、民間事業者による防災関連産業創出に向けた最新の取り組みや、今後の方向性について報告を行なった。

仙台市からは、プライベート LTE 通信網下での完全自立型津波避難広報ドローンに関する紹介や当該通信網の利活用、産学官金の連携・協創による新たな防災関連産業の創出に関する取り組みの紹介を行った。

ノキアからは、同社が世界各国で取り組む火災やインフラ点検等の公共安全分野でのドローン及びプライベート LTE 通信網の導入事例について紹介が行われた。

経済産業省、日本政策投資銀行及び日立製作所によるトークセッションでは、「仙台防災枠組 2015-2030」を踏まえ、産業セクターでの防災の主流化を進めることによる製品・サービスの付加価値向上や仙台の都市ブランド確立に関する議論が行われ、国際標準化の重要性等が指摘された。



産業政策部長 大上による講演



ノキア バーバラ氏による講演



経済産業省等によるトークセッション



会場の様子